

シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第18回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともに紹介します。

## 「馬」

機械化以前の林業では人の手による作業以外にも各種の動物、特に馬の力に頼る場面が見られました。

〔写真〕昭和十四年、巡視する帝室林野局長官一行  
(現在の南信森林管理署管内)



ある時は移動手段として、ある時は空トロッコの運搬、ある時は馬車による木材の運搬といった各場面で馬が活躍していた写真が残されています。

〔上写真〕昭和二十三年、空トロッコ引き上げ  
(現在の東信森林管理署管内)



〔下写真〕昭和二十三年、馬車への積み込み  
(現在の木曾森林管理署管内)

事業の規模としては自動車や森林鉄道などと比べるとかなり小さなものであり、はたして戦前の帝室林野局や農林省山林局が自ら馬を飼育していたのかどうかはよく分かっていません。あるいは民間で飼われている馬を一時的に借りていたのかもしれませんが。木曾地域では昭和五十年代まで馬搬(馬による木材の搬出)が僅かながら行われていたとも聞きます。

現代の国有林の仕事で馬が活躍する場面はまずありませんが、林業家の中には林業機械や自動車よりも森林に与える影響が少ない点や馬との触れ合いに注目して、改めて馬搬に取り組んでいる方もいらっしゃいます。

〔上写真〕昭和二十五年頃、馬搬  
(現在の東信森林管理署管内)



〔下写真〕昭和三十年代、ソリ曳き  
(現在の飛騨森林管理署管内)



ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。  
当サイトへは、QRコードを読み込んでください。

